
「救命救急センターICUにおける人工呼吸器装着患者の主観的睡眠評価の実態調査」

このたび、当院の救命救急センターICU病棟で診察を行った患者さんの電子カルテ上の記録を用いた以下の研究を実施いたします。

本研究は、【埼玉医科大学国際医療センター臨床研究IRB】の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。

本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、カルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

2022年04月01日から2023年03月31日の期間に【埼玉医科大学国際医療センター】を受診し、救命救急センターICU病棟に入院かつ人工呼吸器を装着した患者さんを対象としております。

2. 研究の目的

米国集中医学会より、集中治療室などに入院された患者さんの睡眠障害を予防するために、患者さんに睡眠状況を聴取することが推奨されています。当院、救命救急センターICU病棟でも主観的睡眠評価（Richards-Campbell睡眠評価票）を用いて、患者さんの睡眠状況を聴取しました。睡眠評価の集計・分析を行うことで、入院された患者さんの睡眠の問題点を明らかにし、今後入院される患者さんの睡眠に関するケアや援助に繋げることを目的とします。

3. 研究期間

病院長の許可後～2025年01月25日

4. 利用または提供の開始予定日

研究実施許可後から、約1カ月程度

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

患者番号、年齢、性別、診断名、人工呼吸器を装着した期間、主観的睡眠評価の内容、不眠原因、疼痛の有無、せん妄の有無、持続鎮痛薬の有無、持続鎮静薬の有無、入退院情報（入院日数、救命ICU入室日数、退院先）などの情報を用います。

この研究で得られた患者さんの情報は、【埼玉医科大学国際医療センター】において、研究責任者である栗田 裕子が、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

2. 試料・情報の取得方法

電子カルテを用いて対象期間に入院し、人工呼吸器を装着した患者さんの主観的睡眠評価の内容および関連情報を用います。

3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

- ・ 埼玉医科大学国際医療センター 救命 ICU（看護師） 栗田 裕子（研究責任者）
- ・ 埼玉医科大学国際医療センター 救命 ICU（看護主任） 上村 聡
- ・ 埼玉医科大学国際医療センター 救命 ICU（副看護師長） 中村 真巳
- ・ 埼玉医科大学国際医療センター（医師：診療部長） 加地 正人

4. 試料・情報の管理責任者

埼玉医科大学国際医療センター 病院長 佐伯 俊昭

お問い合わせについて

ご自身のカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

埼玉医科大学国際医療センター 救命 ICU 看護師（栗田 裕子）

住所：〒350-1298 埼玉県日高市山根 1397-1

電話：042-984-4130（土日祝日を除く 8：30～17：30）

メールアドレス：hk9231@5931.saitama-med.ac.jp

○研究課題名：救命救急センターICUにおける人工呼吸器装着患者の主観的睡眠評価の実態調査

○研究責任者：救命 ICU（看護師） 栗田 裕子